参考:<u>https://lpeg.info/webworks/server\_moving\_flow\_wordpress.html</u> とりあえず最新バージョンで良いが、移行先サーバー側のPHPの バージョンとマッチしないケースがある。 WordPress引越し手順(移行先にWordPressが無く、新規で移行する場合) その際はこちらからPHPバージョンと合うものをダウンロード Home News Security Support Docs Try Contribute Sponsors Themes Download 0. 事前準備 ▲ Download 5.0.4 Bringing MySQL to the web ★移行元および移行先で、phpMyAdminにログインできるか確認する Q Try demo ■ Donate サーバーのコントロールパネルの情報があればそこからログイン可能。 **About Sponsors** なければ、p<u>hpMyAdmin</u>を公式サイトよりダウンロードし、それをサーバーにアップしてURLで叩く。 Diamond sponsor phpMyAdmin is a free software tool written in PHP, intended to handle the administration of MySQL over the Web. phpMyAdmin supports a wide range of operations on MySQL and MariaDB. Frequently used operations This space is available — contact us (managing databases, tables, columns, relations, indexes, users, permissions, etc) can be performed via the user to get listed here. interface, while you still have the ability to directly execute any SQL statement. phpMyAdmin comes with a wide range of documentation and users are welcome to update our wiki pages to share ideas and howtos for various operations. The ▼ログインにあたり必要な情報 phpMyAdmin team will try to help you if you face any problem; you can use a variety of support channels to get help. (青文字はログインの際に必要ないが、以降で必要になるので合わせて確認する) phpMyAdmin is also very deeply documented in a book written by one of the developers – Mastering phpMyAdmin for Effective MySQL Management, which is available in English and Spanish. **Gold sponsors** To ease usage to a wide range of people, phpMyAdmin is being translated into 72 ・My SQLのホスト名、ユーザー名、パスワード名 1-800 languages and supports both LTR and RTL languages. TDIAI DDA WordPressのためのデータベース名

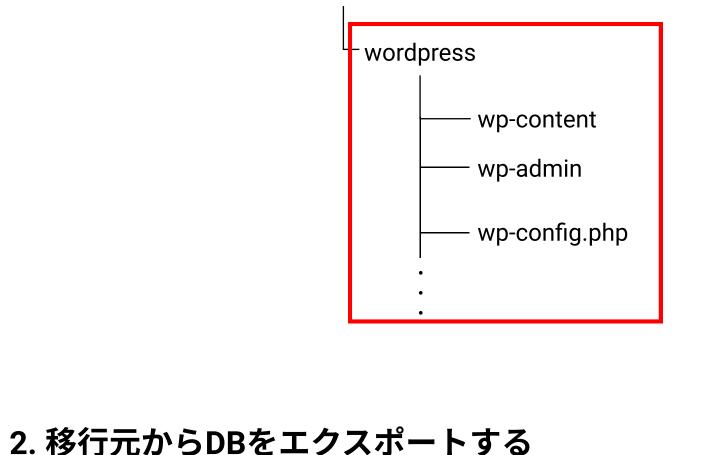
★My SQLのユーザー名とパスワード名が正しいのに phpMyAdminに接続できない場合 phpMyAdminフォルダ内にある、config.sample.inc.phpの31行目の hostがlocalhostのままである 可能性が高い。 このファイルをコピーして、config.inc.phpとリネームしたファイルを用意し、host名を wp-config.phpと同じものに設定する(=MySQLのホスト名と同じにする)

## 移行元のサーバーに上がっているWordPressに関わるファイル群を

1. 移行元から、WordPressに関わるファイル群をダウンロードする

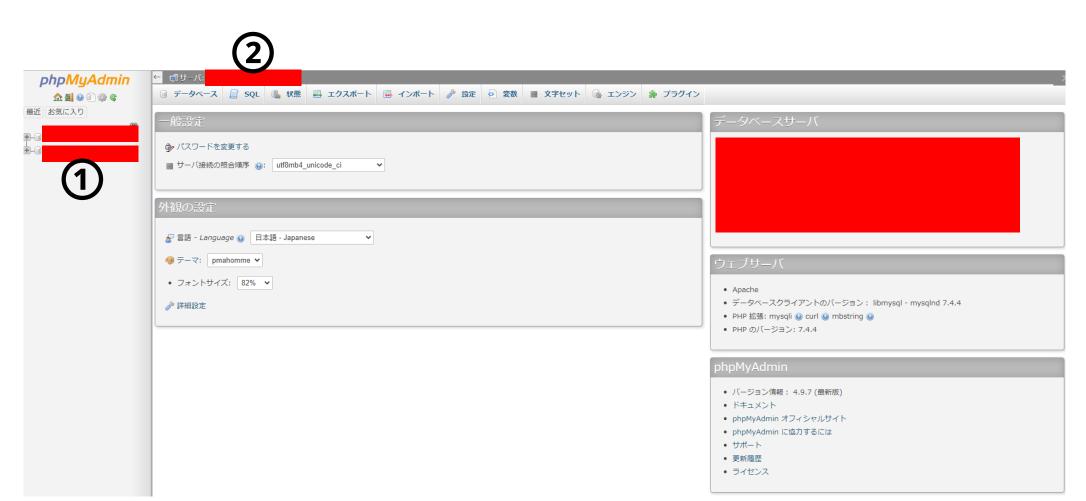
ローカルにダウンロードする(時間がかかるので<u>tar.gz化</u>できるならしてもよい)

例えば、ディレクトリ構造が以下のような場合、赤枠をすべてダウンロードします。



移行元のphpMyAdminへログインします。

すると以下のような画面になります。(ログインできない場合は、**0.事前準備**を進めてください。)



②:MySQLのホスト名

①:WordPressのためのデータベース名

※これらの情報はwp-config.phpに記載され

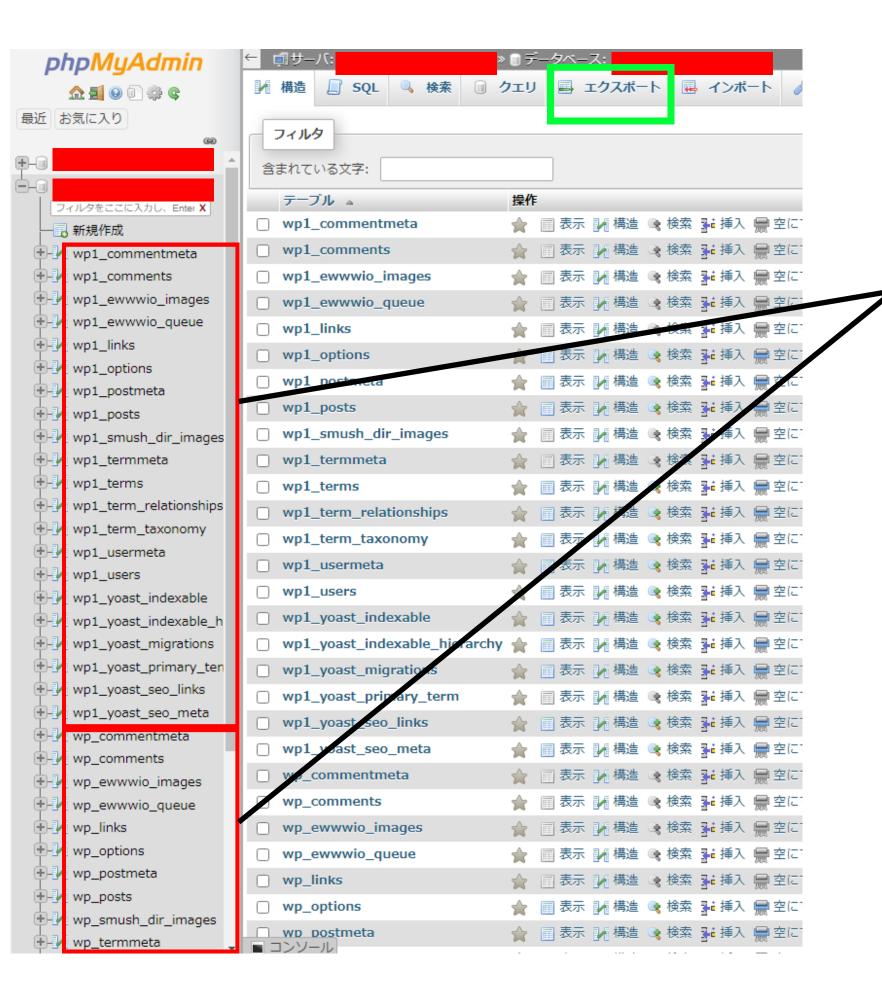
このキャプチャでは、

こういう場合、

ています。

すると以下のような画面になります。

次に、上記①をクリックします。



**wp1\_**から始まるテーブルと、 wp\_から始まるテーブルがありますね。(<mark>接頭辞</mark>といいます) この例では、**同じデータベースに2つのWordPressの情報がまとまっ ているということになります。(あまりおすすめはしません)** 

移行するWordPressのテーブル情報が、どちらの接頭辞から始まるのか、

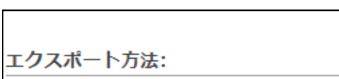
wp-config.phpにて確認します。 ★★実際に確認してみると、wp\_のテーブルであることがわかりました。

🌁 WordPress データベーステーブルの接頭辞 ☀ それぞれにユニーク (一意) な接頭辞を与えることで一つのデータベースに複数の WordPress を \* インストールすることができます。半角英数字と下線のみを使用してください。 \$table\_prefix = 'wp\_';

そうしたら、「エクスポート方法」にて、「詳細」をクリックします。 ← 貞サーバ: » 🗊 データベース:

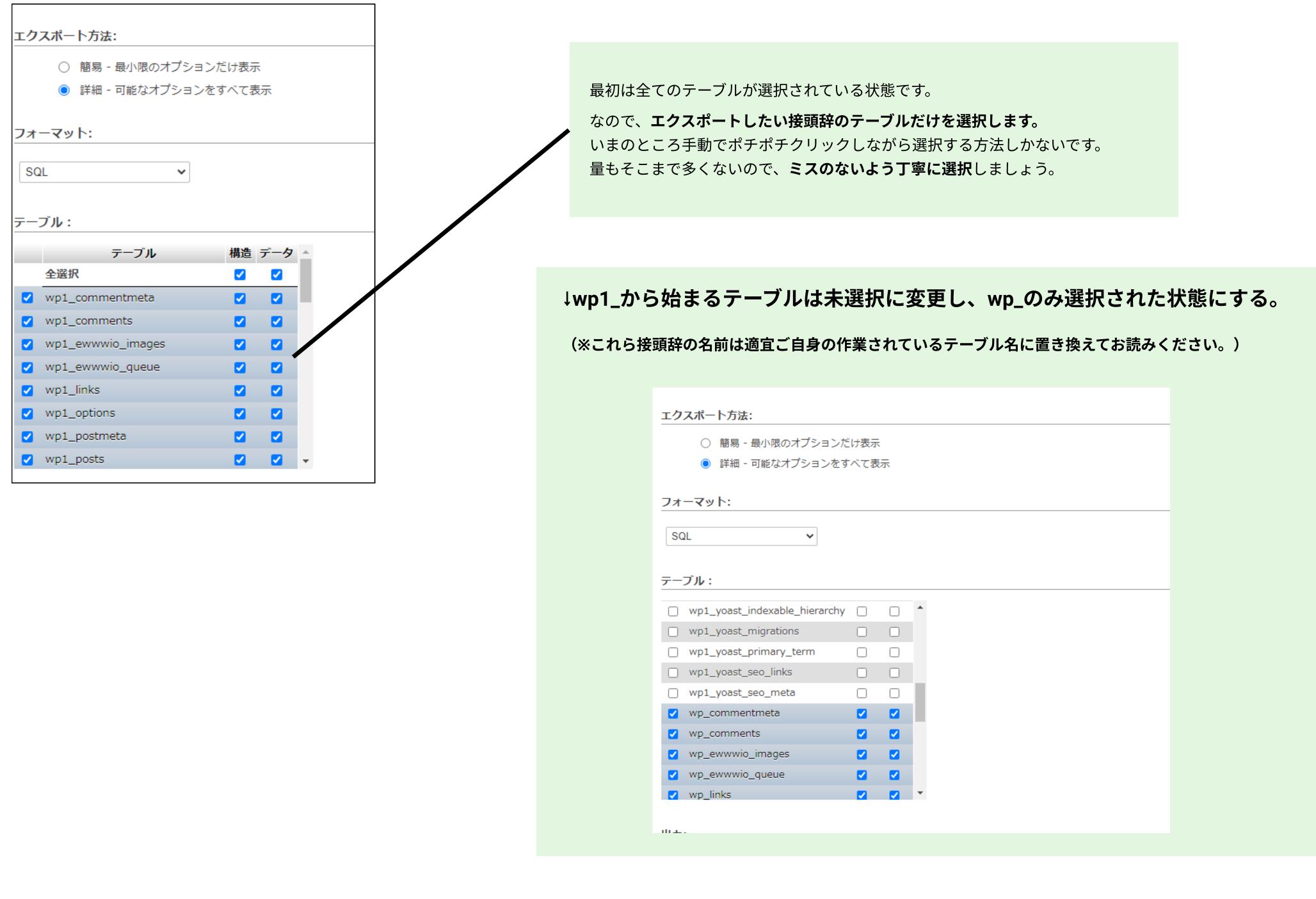
どのテーブルをエクスポートすればよいか分かったので、上記キャプチャの緑枠「エクスポート」をクリックします。





すると、以下の画面になります。

すると以下の画面になります。



生成オプション 追加コマンド:

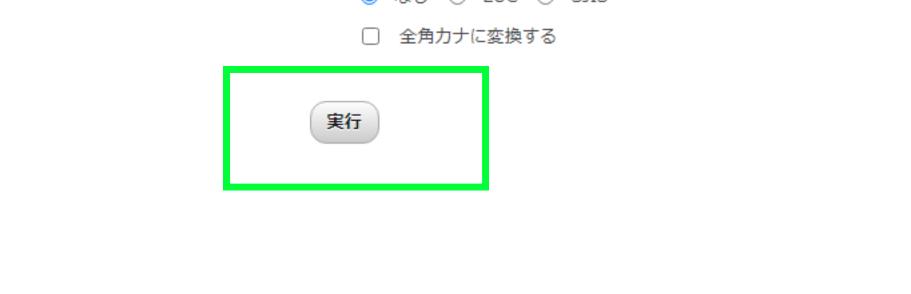
次に、下にスクロールしていくと「生成オプション」という項目があるので、以下緑枠部分にチェックを入れます。

```
□ CREATE DATABASE / USE コマンドを追加する
     □ DROP TABLE / VIEW / PROCEDURE / FUNCTION / EVENT / TRIGGER コマンドを追加する
     ☑ CREATE TABLE コマンドを追加する
          □ IF NOT EXISTS (テーブル作成中にインデックスが生成されるので、効率が悪い)
          ✓ AUTO_INCREMENT 値
     ✓ CREATE VIEW コマンドを追加する
     ☑ CREATE PROCEDURE / FUNCTION / EVENT コマンドを追加する
     ✓ CREATE TRIGGER コマンドを追加する

✓ 逆クォートでテーブルやカラムの名前を囲む (特殊な文字やキーワードを含むカラム名やテーブル名を保護します)
```

エンコーディングへの変換: ● なし ○ EUC ○ SJIS

ここまで、完了したら一番下までスクロールし、「実行」を押してエクスポートしましょう。



エクスポートが完了すると、「データベース名.sql」ファイルがローカルにダウンロードされます。 これをVsCodeなどのエディタで開き、一番下の行に、以下3行があることを確認してください。

/\*!40101 SET CHARACTER\_SET\_RESULTS=@OLD\_CHARACTER\_SET\_RESULTS \*/; /\*!40101 SET COLLATION\_CONNECTION=@OLD\_COLLATION\_CONNECTION \*/;

/\*!40101 SET CHARACTER\_SET\_CLIENT=@OLD\_CHARACTER\_SET\_CLIENT \*/;

以上で、移行元での作業は終了です。 次からは、いよいよ、移行先にインポート等をおこなっていきます。